

学校法人 北日本カレッジ

北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ

事業報告書

令和6年度  
(2024年度)

## 1 教育に関する事項

### (1) 各委員会の運営

#### ① 教育課程編成委員会の運営

- ・委員からの意見をもとに、理論や食品衛生学の授業で衛生など最新の調理や製菓に関する内容を取り入れた。レストラン実習や販売実習ではお客様の対応など実践力を養った。

#### ② 学校関係者評価委員会の運営

- ・委員からは、教育活動及び学校運営は適切に行われているとの評価を得た。

#### ③ 自己評価委員会の運営

- ・委員会では、授業の様子だけでなく、レストランや販売日程の告知も SNS で発信したほうがよいとの意見があった。

### (2) 学生指導の強化

- ・個人面談を実施した。退学者は7名（令和5年度6名）だった。
- ・社会人として必要とされる挨拶や礼儀が身につくよう指導した。
- ・各学期ごとに成績不振者の個別指導を実施した。
- ・調理師免許は調理科・高度調理科卒業生全員が取得した。製菓衛生師国家試験の合格率は96.3%（受験27名、合格26名）であった。
- ・課題研究の授業や作品展での発表を通じて、プレゼンテーション力を養った。
- ・東北ブロックコンテスト（マジパン部門）で4名入賞（金賞1名、銀賞3名）した。
- ・グルメピック全国大会に1名、製菓衛生師養成施設技術コンクール全国大会に2名出場した。

### (3) 各種行事の開催

- ・各行事は予定通り実施することができた。
  - 4月26日 歓迎会
  - 6月13日 体育祭、27日3校合同運動会
  - 10月5日・6日 3校合同学園祭
  - 12月19日 施設慰問
  - 2月14日 卒業作品展（2年）、18日卒業・修了作品展（1年）

### (4) 学生支援

#### ① 就職率100%を早期に実現

- ・就職率は96.4%（令和5年度100%）で、3名活動中である。
- ・クラス担任と就職担当教員が学生の状況を把握し、学生のサポートを行った。

#### ② 学生の支援体制の確立

- ・日本学生支援機構や各種奨学金の紹介など、学生個人の状況に応じて支援を行った。

### (5) 教員の能力開発

#### ① 外部研修会への参加及び内部研修の実施

- ・7月30日 全日本司厨士協会北部地方岩手県本部主催「料理講習会」（2名）
- ・8月7日 全国製菓衛生師養成施設協会主催「洋菓子・和菓子・パン講座」（4名）
- ・9月27日 全国調理師養成施設協会東北地区協議会主催「りんご畑の中のカフェ」（6名）
- ・12月26日 岩手県専修学校各種学校連合会主催研修会（4名）
- ・2月17日 全国調理師養成施設協会東北地区協議会主催「食材王国みやぎ」地産地消の取り組みについて（1名）
- ・3月17日 本校主催「学習指導のあり方を考える」（13名）

#### ② 教員の上級資格の取得を支援する。

- ・ジュニアカキマイスターの資格を1名取得した。

### (6) 授業概要の検討

- ・教育課程編成委員会の提言をもとに、よりよい授業を展開できるよう工夫した。

## 2 教育環境

### (1) 職能団体及び関連企業、施設との連携の強化

- ・企業と連携して校内実習・校外実習を実施した。

### (2) 各委員会の推進及び意見の活用

- |                 |     |            |
|-----------------|-----|------------|
| ① 学校関係者評価委員会実施日 | 第1回 | 令和6年10月15日 |
|                 | 第2回 | 令和7年2月25日  |
| ② 教育課程編成委員会実施日  | 第1回 | 令和6年10月15日 |
|                 | 第2回 | 令和7年2月25日  |
| ③ 自己評価委員会実施日    | 第1回 | 令和6年8月19日  |
|                 | 第2回 | 令和7年2月4日   |

(3) 自己点検・自己評価及び情報公開の推進

- ① 自己点検の実施日 令和6年12月20日
- ② 授業評価の実施日 令和6年11月
- ③ 学校点検の実施日 令和6年12月

(4) IT環境の整備

- ・全教員がパソコンを使用し、専用のフォルダーで情報を共有し、業務の効率化を図っている。

3 学生募集

(1) オープンキャンパス等の開催

- ・毎月、高校生や社会人向けのオープンキャンパスを実施した。

(2) メディアの活用

- ・令和6年度のテレビでの放送  
レストラン実習  
チャリティー販売  
クリスマス施設慰問  
子どもの居場所ネットワークいわてへの寄附金贈呈式

(3) 入学生の確保

- ・広報職員と協力し、入学者の確保に努めた。
- ・離職者等再就職訓練制度を利用し入学した学生は2名だった。教育訓練給付制度を利用し入学した学生は4名（調理科3名・製菓衛生師科1名）だった。

(4) 附帯教育事業

- ・製菓衛生師通信教育科の受講者は19名（令和5年度20名）だった。

4 高校生及び高校教師対象の事業の拡充

- ・依頼のあった中学校や高校での模擬授業や調理や製菓に関する講話を実施した。

5 特別講師による授業の展開

- ・7月12日 野島茂氏による洋菓子・飴細工特別実習
- ・10月29日 大西孝典氏による西洋料理特別実習

6 その他

(1) 情報公開

- ・学校の自己評価及び学校関係者評価の結果をホームページ等に公表し、学校内部の透明性を図った。

(2) ボランティア活動による社会貢献を積極的に行う。

- ・令和6年12月のチャリティースイーツ販売の売り上げから、子どもの居場所ネットワークいわてに10万円、児童養護施設青雲荘に2万円寄附した。
- ・令和6年12月19日、児童養護施設青雲荘、介護施設あくびにクリスマスケーキを贈呈した。

(3) 各種講座の開催

- ・社会人2名が教育訓練給付制度を利用し、製菓衛生師通信教育科を受講した。

(4) 卒業生への支援

- ・6月26日 同窓会総会を実施し、8月24日に70周年記念式典を行った。